

科目名	美術科指導法Ⅰ			科目コード	5009
開講学科	教職課程	単位数	4	形態	講義
教員名	久富 誠				
授業の目的及びテーマ					
中学校学習指導要領解説美術編及び高等学校学習指導要領解説芸術編を学ぶ。中学校美術科の目標、高等学校の美術・工芸の目標を学ぶ。美術科指導法Ⅰの目標を学び、学校教育における美術科を考える。生徒の美術科の学びを考える。					
授業概要					
学校教育における広義の美術教育のこれからを主題とした討議と考察を深める。正しい美術科学習指導案を作成し、わかりやすい模擬授業を行う。生活や社会における美術や工芸の役割について考察し、討議する。					
授業計画					
第 1 回：青年期アートの発達 第 2 回：造形作品、活動の個性的発達 第 3 回：アートの授業の基礎理論 第 4 回：美術家の教科性と思想 第 5 回：アート教育思想の源泉 第 6 回：日本の美術教育の歴史、変遷 第 7 回：近代におけるアート教育の成立 第 8 回：期待されるアート教育の創造設計 第 9 回：期待される教育計画の立案 第 10 回：教育計画立案の重要性 第 11 回：地域や学校の独自性に対応した年間計画 第 12 回：学習指導案の作成 第 13 回：アート教育の授業研究と評価 第 14 回：授業研究と評価の実践 第 15 回：授業改善の実践的思考と評価 第 16 回：美術科指導法の目標を学ぶ。・学校教育における美術、工芸教育を考える。 第 17 回：中学校学習指導要領解説美術編及び高等学校学習指導要領解説芸術編、美術編を学ぶ。これからの美術科指導のあり方について理解する。 第 18 回：学校の「教育指導の計画」を理解し、美術科の目標はどのように設定するか考える。美術科年間指導計画の作成について理解する。 第 19 回：美術科指導計画を作成する。指導案の作成にあたり、題材設定の理由（生徒観、教材観、指導観）について特に留意する。			第 20 回：美術科指導案を作成する。・指導目標、評価規準、指導計画、学習の展開を熟考する。 第 21 回：わかりやすい授業を目標に、導入時のワークシートの活用や参考作品の提示について考える。 第 22 回：話し方や作品提示の仕方、板書の仕方などを工夫し、展開につながる導入部分を中心に模擬授業を行う。 第 23 回：作品の鑑賞会と意見交換などの授業展開を考え、実践する。 第 24 回：美術科の学習まとめ、自己進捗評価の記録など、題材のまとめと評価を考える。 第 25 回：学習指導案集から、指導案として読みやすく、わかりやすい授業の展開を考える 第 26 回：学習指導案集から評価の場面や評価の観点を考える。 第 27 回：教材研究 1 美術資料からの考察「生徒に挑ませたい素材とは」 第 28 回：美術史を学ぶ 1 ・西洋美術 代表的な作品や文化遺産の素晴らしさを生徒に紹介するためには美術史の知識は不可欠である。情報機器を活用し、鑑賞教材を通して代表的な美術作品と出会う。 第 29 回：子どもの成長と表現 ・子どもの発達と造形表現・子どもの絵の発達と様式的特徴・子どものものづくり活動の発達 第 30 回：美術は何を身につける教科なのか ・美術は社会に何を伝えるか		
テキスト	「アート教育を学ぶ人のために」 竹内 博、長町充家、春日明夫、 村田利裕編 （世界思想社）		参考文献	中学校学習指導要領 （文部科学省） 「美術資料」京都市立芸術大学美術教育研究会 （秀学社）	
評価方法：					
通信：課題提出（3 課題・指導案含む）及び筆記試験 面接：事後レポート 3 0 % 学習指導案 2 5 % 模擬授業 2 5 % 鑑賞テスト 2 0 %					